



第1回 大阪マラソン開催基本計画(案)

平成22年3月

目次

1. 開催概要	1
2. 大会コンセプト	2
3. 大会目的	4
4. コース	5
1 コースの考え方	
2 スタート地点の考え方	
3 フィニッシュ地点の考え方	
5. 新しい都市型市民マラソンの実現のために	6
6. 関連事業	8
1 関連事業の考え方	
2 主催事業	
(1) 大阪マラソンEXPO	
(2) 沿道盛上げイベント	
(3) 機運盛上げイベント	
3 その他の主催事業	
(1) 大阪マラソン企画キップの販売	
(2) 街角コンシェルジュ	
4 協働事業	
(1) 元気！大阪・商店街キャンペーン	
(2) コナモン・ローディングパーティー	
(3) ファミリーモーニングラン	
(4) 大阪マラソン応援！協働事業公募	
7. 大会運営	16
1 運営体制	
2 大阪マラソン祭りの運営	
3 ボランティアの参画	
8. 協賛企業	17
1 企業選定の方針	
2 セールスアイテム	
3 販売カテゴリー	
4 具体的なセールスの考え方	
9. 広報	19
1 広報の考え方	
2 海外への情報発信と海外からの集客施策	
10. 大会運営費(概算)の算出	21

○大会名称： 第1回 大阪マラソン

○開催時期： 平成23年10月または11月

○内 容： フルマラソン、併設レース(ハーフマラソンまたは10km/車いすレース)

○制限時間： フルマラソン 7時間(最大)

○参加人数： 30,000人(最大)
(フルマラソン以外の併設レース参加者含む)

○主 催： 大阪府、大阪市、大阪陸上競技協会

○共 催： 読売新聞大阪本社

○後援・協賛など： 今後調整

***RUN* for ALL** ***ALL* for OSAKA**

～絆の虹をつなげよう～

走ることが誰かのためになる。

多くの府民・市民・企業を巻き込んだマラソン大会が、
すべて大阪のためになる。

大阪の多様性を象徴する「虹」が、
人と人、人と街とをつなぐ。

感動の夢舞台「大阪マラソン」の開幕です。

【大会コンセプト策定にあたって】

単なる「マラソン大会」ではない。大阪独自の新しい「祭り」。

大阪は、いにしえより、多様な価値観を受容する独自の個性を持った「大阪人」の民力によって形作られた街であり、歴史や風土に恵まれた環境を持つ、潜在力のある街です。

マラソンは多くの人々が一度に参加できるうえに、老若男女の別や身体能力に関係なく、自分の目標を設定して完走による達成感を味わえるなど、他のスポーツやイベントにはない特徴があります。

近年の健康志向により、個人で簡単に始められるため、ランニング人口は増えつつあり、マラソン大会のニーズが高まっています。

「大阪人」の知恵と工夫を活かしてマラソン大会を開催することにより、スポーツ人口のすそ野を拡げ、生涯スポーツの振興を図ります。

また、大阪の歴史・文化・風土、ホスピタリティー豊かな大阪のまちの魅力を内外に発信することで、集客力を高め、大きな経済波及効果が期待できます。

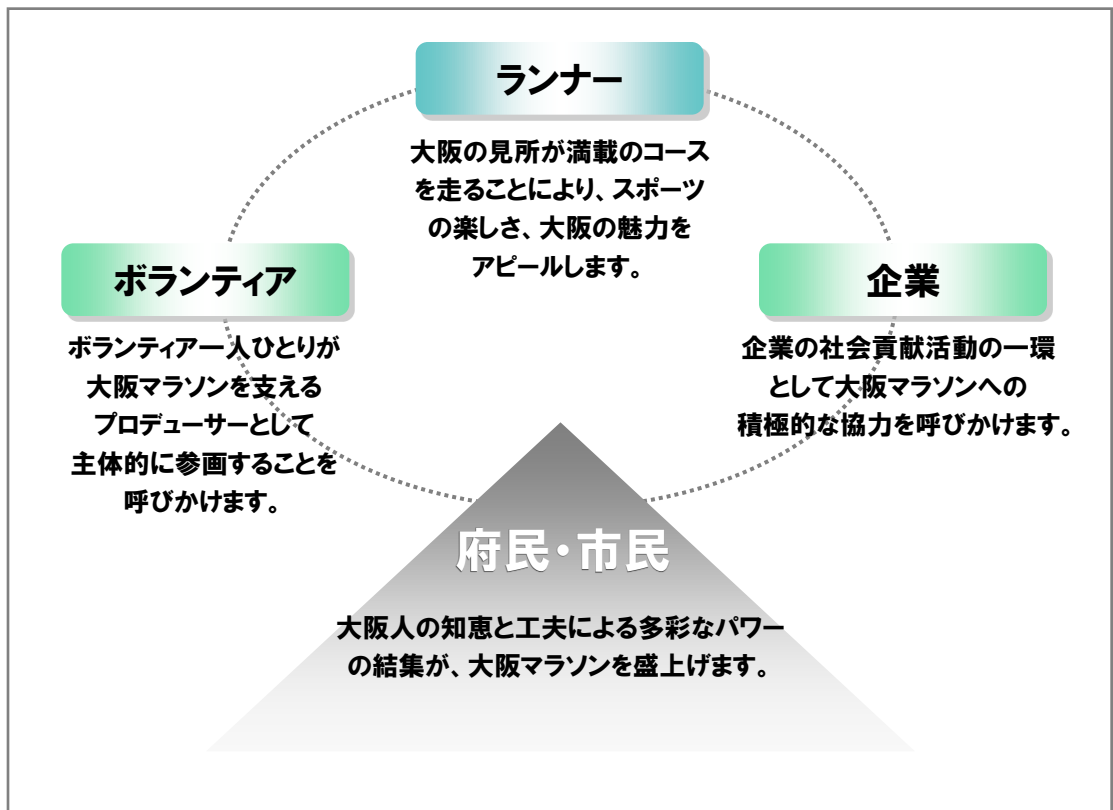


図1 大阪マラソンの担い手

府民・市民の様々な可能性を引き出すことで、スポーツ振興や社会貢献に結びつく仕組みを構築します。

これまでのマラソン大会のあり方とは一線を画した、新しい市民マラソンのモデルとして、大阪の都市魅力の発信や地域コミュニティの活性化につなげます。

- (1) 大阪の都市魅力の発信
- (2) 大阪への郷土愛を喚起
- (3) 生涯スポーツ人口の増加
- (4) 地域コミュニティ強化
- (5) チャリティー文化の普及
- (6) ボランティア文化の浸透
- (7) 経済波及効果

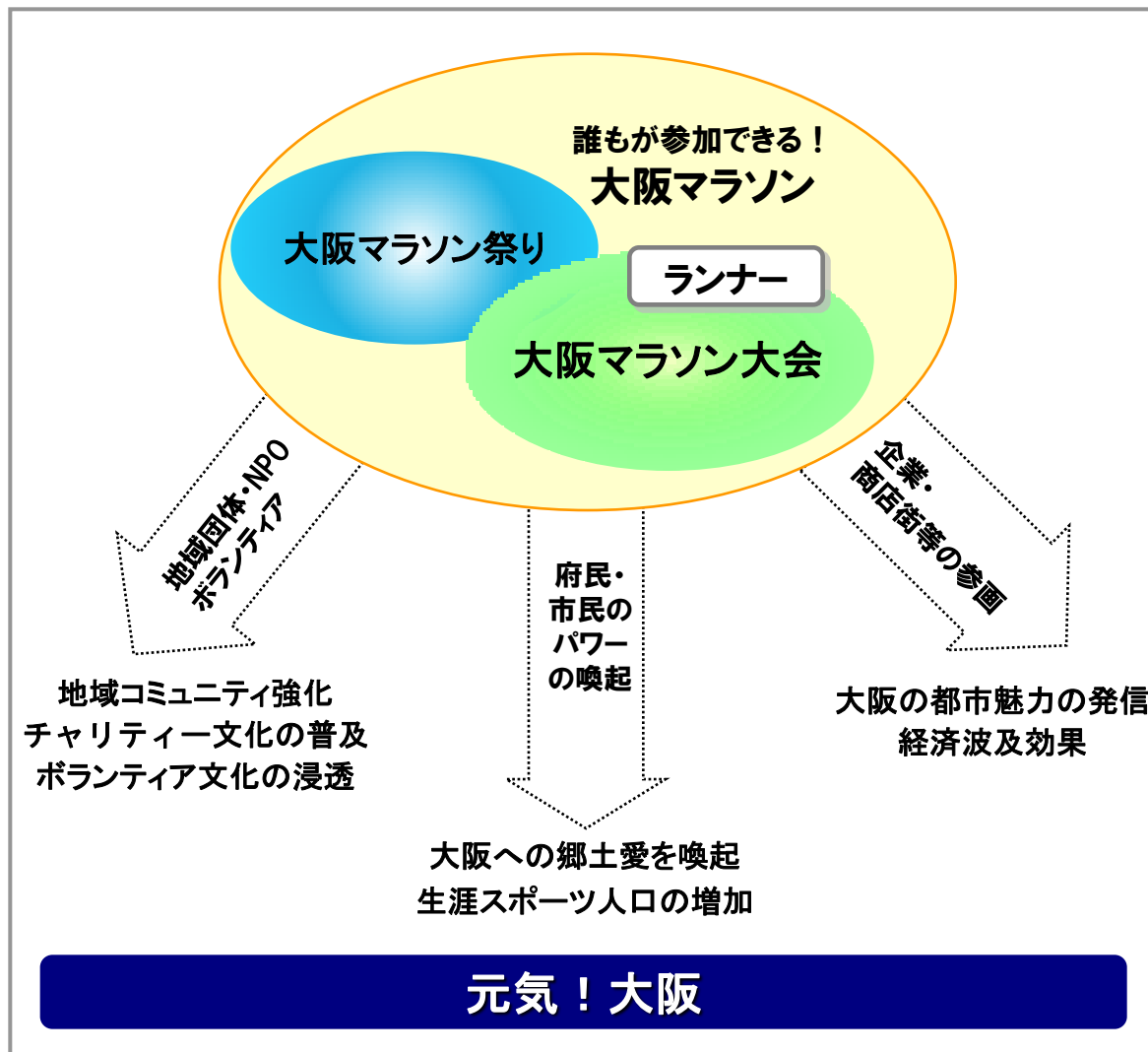


図2 大阪マラソンの期待効果

下記の要件を最大限に満たすコースを計画することとします。

1 コースの考え方

- 30,000人(最大)のランナーが快適に走ることができるコースであること。
- 大阪が誇りとする名所旧跡を駆け抜ける魅力的なコースであること。
- 最大7時間の制限時間が実現可能なコースであること。
- 財団法人日本陸上競技連盟の公認コースとすること。
- 「観て」「応援して」「共感」できる多数の観衆が見込めるコースであること。
- 併設レースとして、ハーフマラソンまたは10km、車いすレースが実施可能なコースであること。
- 往復コースの場合、スタート・フィニッシュ地点の交通規制が長時間にわたるため基本的にワンウェイであること。
- ランナーの安全が確保できる道路幅員(特にスタート地点近辺)であること。
- 道路利用者に対して迂回路などの設定が可能なコースであること。
- 観衆、大会関係者などが、公共交通機関などを利用して、スタート地点からコースのポイントを経てフィニッシュ地点までを移動できるコースであること。
- 横断歩道橋、地下道、地下鉄駅通路などを利用し、沿道住民、観衆などが道路を横断する手段を確保できるコースであること。

2 スタート地点の考え方

- 大阪のランドマークとして、国内外から参加するランナーに高い満足を与えられること。
- 30,000人(最大)のランナーが円滑にスタートできる道路幅員が確保できること。
- ランナー、観衆の誘導、関係者への指示などを実行可能であること。
- 複数の公共交通機関により、ランナー及び観衆、関係者が安全かつ円滑に移動できること。
- ランナーの更衣、手荷物の集荷および仮設施設の設置スペースが十分に確保できること。

3 フィニッシュ地点の考え方

- 十分な雨天対策が可能な既存施設(屋内施設・トイレなど)を備えていること。
- ランナーをコースから円滑に施設内へ誘導することが可能であること。
- 公共交通機関によりランナー及び観衆、関係者が安全かつ円滑に移動できること。
- ランナーの更衣、手荷物の引き渡し、収容バスや搬送トラックの運行展開、観衆待機エリア、仮設物の設置が可能である十分なスペースを確保できること。
- マラソンEXPOや関連イベントの開催が可能なスペースを確保できること。

全参加者を7色にチーム分け

大阪の多様性を「虹」に象徴させ、参加者を「チーム」に分けることで多くの方々や企業が参画しやすい仕組みを構築します。走ることプラスアルファの仕組みによって、大会を盛上げます。

○レインボーカラーが大阪の多様性を表現

大阪人の豊かな個性や、様々な人をフレンドリーに受け入れる大阪の風土を虹の7色で表現します。

(例)参加ランナーにチームを識別する7種のカラーリストバンドなどを配布。チームとしての一体感を醸成し、観衆にも所属チームを分かりやすく提示します。
また、参加ランナーに、自分のチームの色のウエア着用を呼びかけて、大阪の多様性を象徴する「虹」を表現します。



リストバンド イメージ写真



Tシャツ イメージ写真

○7種のテーマによる多彩なチャリティー事業の実現

幅広い社会貢献テーマを設けることで、多くの参加者や企業の賛同を得られる仕組みを構築します。

- (例)各チームごとに、「エコ」や「地域活性化」など社会貢献テーマを設定します。参加ランナーはエントリー時に、どのテーマで社会貢献したいかを選択し、賛同するテーマのチームにエントリーします。企業は自社が社会貢献活動で力をいれているテーマを選択し、協力できる仕組みを検討します。

〈社会貢献テーマ例〉

ブルー	水：大阪の水資源を守る活動 支援
グリーン	環境：大阪の街をきれいにプロジェクト
ネイビー	スポーツ：子どもや障がい者にスポーツの喜びを伝えるプロジェクト
レッド	医療：エイズ啓発活動 支援
イエロー	地域活性化：大阪の活性化のための事業 支援
パープル	食：親子で食の大切さを学ぶ「食育プロジェクト」支援
オレンジ	平和：地雷撤去活動 支援

○チーム対抗戦で「祭り」としてのマラソン大会を盛上げ

チーム分けにより、ランナー同士の帰属意識を誘発し、チーム対抗戦の要素を取り入れることにより、ランナーのみならず、観衆の応援モチベーションも高め、連帯感や大会の盛り上げを図ります。

- (例) ・応援団長には、大阪にゆかりのあるタレントや著名人を起用し、事前から当日まで、大会をPR。
・沿道では、各チーム応援団が色分けされた応援グッズで、ランナーを応援します。



写真はイメージです

1 関連事業の考え方

大阪マラソンの開催にあわせて、関連イベントや各種事業を『大阪マラソン祭り』とし、広く参加を呼びかけ、マラソンコース沿道のみならず、府内全域で総合的に実施します。

大阪マラソンならではの独自性の打ち出しと、チャリティー大会であることへの理解と協力の呼びかけを含めた事業を展開します。

(1) 実施目的

○大阪の都市魅力の発信

大阪のまちの魅力をふんだんに取り入れた関連イベントを開催し、大会とともに大阪の魅力を内外に発信することで、大阪ミュージアム構想を推進します。

※大阪ミュージアム構想とは、大阪の魅力を再発見し、磨き輝かせ、結びつけ、それを内外に発信する、行政と府民や企業が協働して推進している運動のこと。

○大阪マラソン開催への機運盛上げ

1年前イベントや前夜祭など大会前から様々な関連イベントを実施することによって大阪マラソン開催当日に向けて機運を盛上げます。

(2) 事業の方法

関連事業は、主催者の関与の方法により、主催事業と協働事業の二つの位置づけで検討します。

○主催事業

主催者が中心となって実施する大会と直接関係がある応援イベントや、マラソンEXPOなどの行事と、1年前イベントなど機運盛上げの事業です。

○協働事業

団体や協賛企業の主体的運営に委ね、府民・市民参加型の自由度の高い展開を行う事業です。

2 主催事業

大会直近を中心に、大阪らしい様々なイベントを打ち出し、直前の「お祭り」感を盛上げます。

(1) 大阪マラソンEXPO

＜概要＞ 大会に先立ち、ランナーの参加受付とともに、スポーツグッズなどの展示即売会や各種イベントを開催し、参加ランナーだけでなく、誰もが楽しめる内容で開催します。

＜会期＞ 大会本番の2日前～大会当日(計3日間)を想定
※金・土・日曜日

＜会場＞ フィニッシュ会場周辺

＜内容＞

◇ランナーの参加受付

◇スポンサーブースエリア

- ・大会協賛スポンサーブース(公式大会グッズ販売、新製品紹介)
- ・その他企業、団体ブース
(他のマラソン大会のPR、スポーツメーカー、NPOやチャリティー団体)

◇コナモンフードコート

- ・大阪らしい、たこ焼きやお好み焼き、串かつなどの販売

◇なにわフォトロケーション

- ・大阪名物くだおれ太郎、ビリケンさんなどと写真撮影

◇大阪PRブース

- ・パネル展示による大阪紹介や大阪産の野菜などの販売など

◇レインボーステージ

- ・お笑いステージ、トークショー、チャリティオークション、ゲームなど

◇スポーツスクエア

- ・バーチャルラン、キッズスポーツコーナーなど

◇メディカルステーション

- ・体力測定、血圧測定、ストレッチ指導など

(2) 沿道盛上げイベント

＜概要＞ 大阪らしい仕掛けを組み込み、大会当日に府民・市民が一体となって展開します。

＜会期＞ 大会本番日(1日間)

＜会場＞ コース沿道各所

＜内容＞

◇元気！大阪大応援合戦

- ・コース沿道に応援コーナーを設置し、大応援団が、沿道応援者や観衆と一体となって大会・大阪を盛上げます。

◇スタートセレモニー

- ・マラソンのスタート合図に先立って、セレモニーを実施します。
- ・大阪府知事、大阪市長、大阪陸上競技協会会長の臨席により、大規模都市型マラソンにふさわしい演出を行います。

◇エイドステーション(給水・給食)

- ・大阪マラソンでは、エイドステーションを、ランナーと大会を支える大切な場所として、マラソンに欠かせない給水・給食を、府民・市民が一体となって提供します。
- ・コース沿道を中心に府内の民間企業、商店街などにご協力いただき、サポートグッズの提供やボランティアスタッフの派遣などにより、ランナーを支え、大会を盛上げます。

◇大阪名物ソウルフード給食

- ・エイドステーションの一部に、料飲食産業の協力を得て設置。
- ・参加ランナーへの給食に「大阪もん」や大阪ゆかりの飲食物を提供します。



写真はイメージです

(3) 機運盛上げイベント

<概要> 大会開催1年前から様々なイベントを開催し、機運を盛上げます。

<会期> 大会1年前から随時

<会場> 府内各所

<内容>

◇1年前イベント

- ・大会開催1年前にイベントを開催。
- ・会場は、ターミナルなど賑わいのあるスポットとし、開催を広く周知し、機運盛上げの第1弾と位置づけます。
(参加者例)大阪府知事、大阪市長、大阪陸上競技協会会長、ゲストなど

◇大阪マラソンPRキャラバン

- ・様々な機会を利用して、大阪マラソンの実施をPRします。
- ・PRキャラバン隊を結成し、様々なイベント会場でのPRを展開します。
(例)他のマラソン大会、スポーツ大会、大規模イベントなど
- ・府内各地で開催されているマラソン大会との連携・協働を図ることで、大阪マラソンと各地のマラソンがともに発展する展開をめざします。

◇コース周辺クリーンアップ

- ・コース周辺での清掃活動を中心に、駐輪対策、路上駐車対策と連動し実施します。大会に向けた意識向上を図ります。
- ・近隣住民などの積極的な参加を促すほか、ボランティアを公募します。

3 その他の主催事業

(1) 大阪マラソン企画キップの販売

〈概要〉 大阪マラソン開催を記念した公共交通機関の一日乗車券などの企画キップを販売します。
大会への参加促進と大会の機運盛上げを目的とします。

(2) 街角コンシェルジュ

〈概要〉 ランナーやマラソンEXPO来場者、観衆に向けて、ボランティアや学生による観光、コース観戦案内、写真撮影などを実施します。

〈会期〉 マラソンEXPO期間、大会当日

〈会場〉 ◇マラソンEXPO期間
・主要ターミナル(大阪・新大阪・梅田・なんば・天王寺など)
・空港(関西国際空港・伊丹空港)
・マラソンEXPO会場
◇大会当日
・上記に加えて、主要応援ポイント周辺

4 協働事業

(1) 元気！大阪・商店街キャンペーン

大阪マラソンと連動したキャンペーンを展開し、商店街の活性化につなげます。

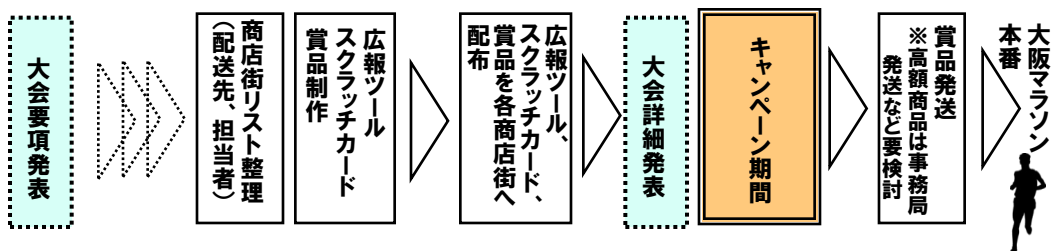
1) 大阪マラソン応援グッズ プレゼントキャンペーン

＜概要＞ 大阪府内の商店街各店で、お買い上げ金額に応じてスクラッチカードを配布します。
 賞品は、大阪マラソン応援グッズやマラソンに関連するアイテムなど話題性、プレミアム感あるアイテムとし、より幅広い府民・市民の参加を喚起します。
 キャンペーン告知広報に力を入れ、来店誘引を行い、商店街の活性化を図ります。
 また、地域での夏祭りや市民まつりと連動することで大会実施への機運盛上げにつなげます。

＜会期＞ 大会1年前から随時実施

＜会場＞ 府内商店街など

＜運用展開例＞



2) リストバンドで 得得！キャンペーン

＜概要＞ 大阪マラソンのオリジナルリストバンドを見せるだけで割引やプレゼントの特典が受けられるキャンペーン。
大会1ヶ月前から実施し、大会実施の機運を盛上げます。
リストバンド購入金額の一部は、チャリティーとして寄付される仕組みを検討します。

＜会期＞ 大会1ヶ月前～大会当日

＜会場＞ 府内商店街など

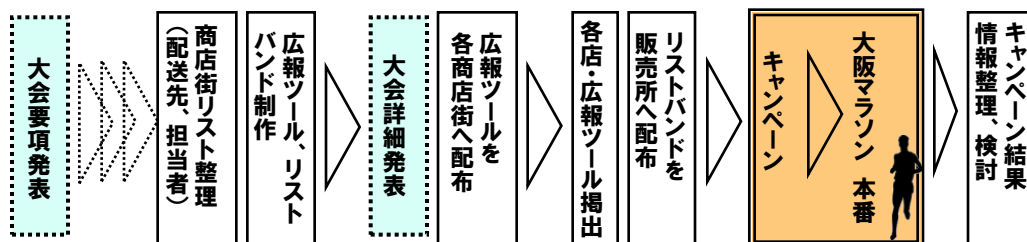
＜展開例＞ ◇キャンペーン参加店の店頭、『大阪マラソン応援』ステッカーなどを掲示いただき、各店独自の特典をご用意いただきます。

- ・飲食店でのランナー応援メニューの特別割引
- ・大阪マラソン特別メニュー「レインボー定食」の提供
- ・大阪マラソン記念セールの実施
- ・健康、マラソン、その他スポーツにちなんだ商品の割引 など

◇リストバンド配布方法

- ・参加ランナーに対しては、事前に各種資料とともに送付
- ・一般に対しては、キャンペーン参加商店街などで販売

＜運用展開例＞



＜その他の展開例＞ ◇大阪マラソンオリジナルガイドブックの作成

（内容例） ・大阪マラソン情報
・キャンペーン参加商店街の紹介、参加店キャンペーン情報
・府内の美術館、施設の割引クーポン
・大阪府観光ガイド

（配布場所） 府内主要ターミナル、全国旅行代理店店頭、府内商店街、スポーツショップ、ホテルなど

(2) コナモン・ローディングパーティー

＜概要＞ 大阪マラソンの前夜祭として、大阪ならではのカーボローディングパーティー「コナモン・ローディングパーティー」を開催します。おにぎりやパン・パスタなど定番のメニューに加えて、たこ焼きやお好み焼きなどの「コナモン」を提供します。ランナー、ボランティア、大会関係者の相互交流の場とするとともに大会の機運盛上げを図ります。

＜会期＞ 大会前々日または前日

＜会場＞ 府内ホテルなど

＜参加者＞ ランナーとその関係者、一般



写真はイメージです

(3) ファミリーモーニングラン

＜概要＞ 大会前にランニングイベントを実施し、ランナー、ボランティア、大会関係者の相互交流の場とするとともに、ウォーミングアップの機会とし、大会の盛上げを図ります。遠方から参加するランナーへの宿泊促進により、更なる経済効果を狙います。

＜会期＞ 大会前日または1週間前の早朝

＜会場＞ 大阪城公園など府内の公園・緑地

＜参加者＞ ランナーとその関係者、一般

(4) 大阪マラソン応援！協働事業公募

市民団体、NPO、企業、ボランティアなどが企画する大阪マラソンを盛上げるシンポジウム、イベント、その他の応援事業・関連事業の公募を検討します。

(例)・スポーツ関連学会やシンポジウムなど
・勝手に応援隊

1 運営体制

大阪府、大阪市、大阪陸上競技協会を中心として読売新聞大阪本社、協賛企業、ボランティアなどが協力して運営にあたります。

2 大阪マラソン祭りの運営

協賛企業、NPOやボランティア団体等に呼びかけ、主催事業に加え、協働事業の環を拡げることにより、「大阪マラソン祭り」の盛上げを図ります。

3 ボランティアの参画

個人ボランティアの募集を行うとともに、スポーツ競技団体、地域コミュニティ団体などに協力を呼びかけ、団体でのボランティア参加を募り、ホスピタリティーあふれる大会運営のため、十分な研修の機会と、役割を提供します。

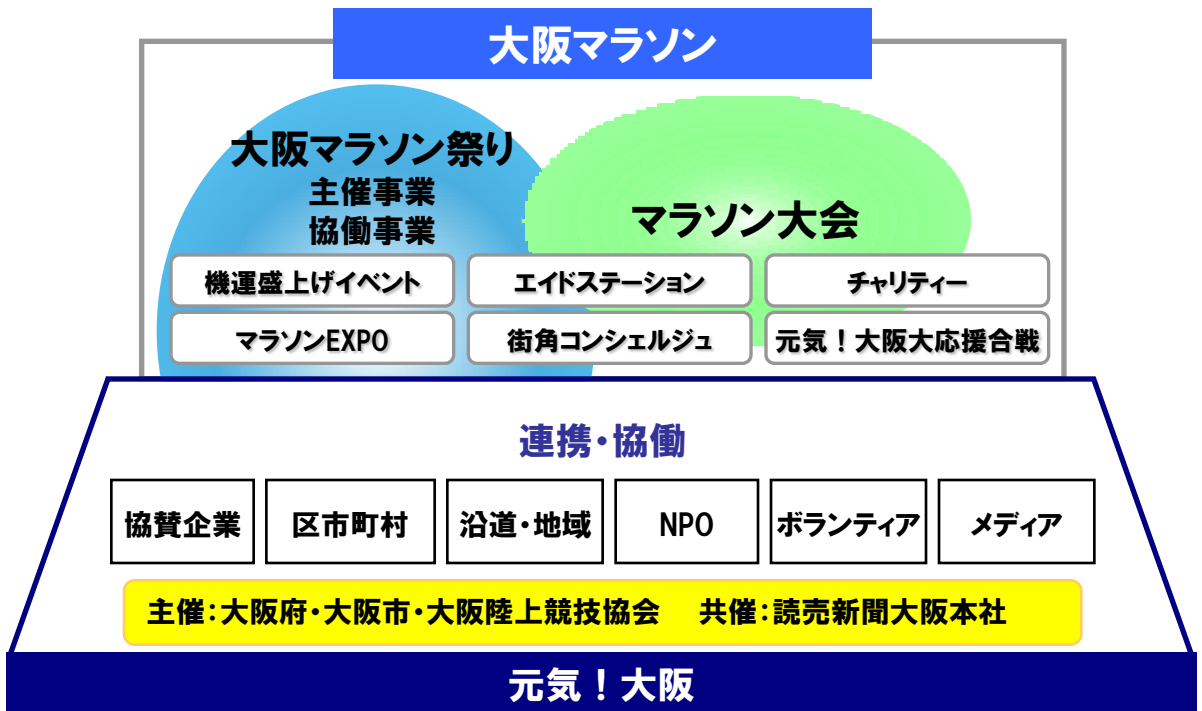


図3 大阪マラソン イベント構成図

1 企業選定の方針

新しいカテゴリーのセールス開発を含む、協賛企業の獲得を目指します。

- 【3つのセールスアプローチ】
- スポーツ文化の発展に理解ある企業
 - 大阪にゆかりのある企業
 - 物品・サービスの提供が期待できる企業

公益事業、チャリティー大会としての大阪マラソンにふさわしくない企業・団体の協賛はお断りする場合があります。

2 セールスアイテム

以下のアイテムを想定し、協賛企業へのセールスを行います。

- ゼッケン広告<最大4社>(男女各上下)
- ウェア、飲料、車、時計などの現物支給
- 広告や自社商品における呼称、マークの使用権
- コース上での広告ボード設置
- マラソンEXPOでの出展スペース
- 参加者へのサンプリング
- プログラム、ポスターなど公式制作物への掲出
- 大会ホームページでの展開
- 大会優先出場枠の確保
- ボランティア優先枠の確保
- メディア(テレビ、新聞など)での露出

3 販売カテゴリ

原則1業種1社を条件としてスポンサーセールスを実施します。

○マラソン定番カテゴリ

マラソン競技に必要なアイテム(ウェア、飲料、車、時計)

○現物支給に関わるカテゴリ

物流、ホテル、航空、旅行代理店、AED、弁当、通信など

○大阪ローカルカテゴリ

電気、ガス、通信、百貨店、鉄道、バスなど

○主要カテゴリ

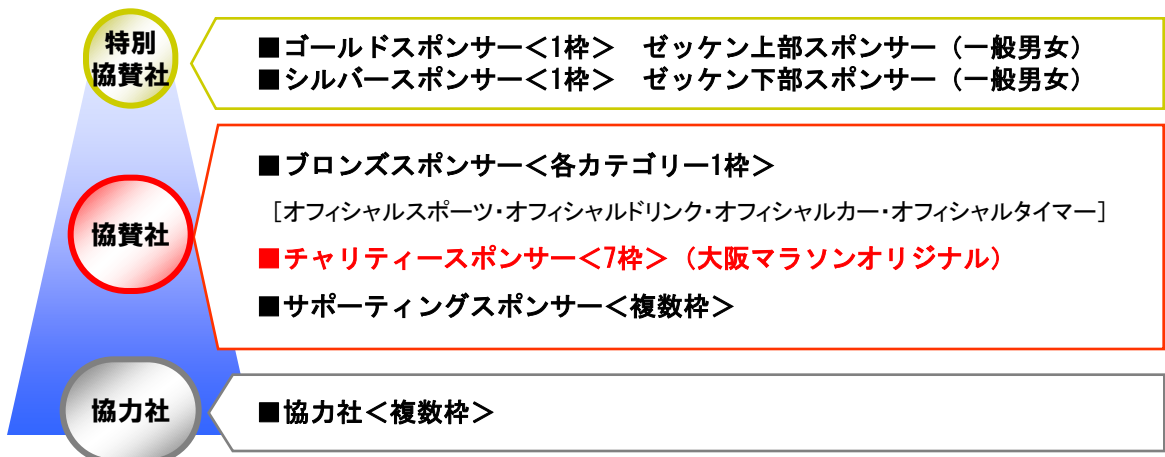
製薬、住宅、不動産、食品、家電、コンビニ、流通、銀行、教育、クレジットカード、ファーストフード、日用品、化粧品、通信、携帯電話、健康食品、ゲーム、石油、素材メーカーなど

○メディアカテゴリ

テレビ、新聞、ネット、衛星放送、ケーブルテレビ、雑誌、ラジオなど

4 具体的なセールスの考え方

下記のように、スポンサーヒエラルキー(段階的構造)の導入を検討します。



1 広報の考え方

コースに点在する名所旧跡と活気あふれる街なみや、府民・市民と観衆が一体となって大会を支える新しい都市型市民マラソンを大阪の都市魅力として内外に広く発信します。

(1) ステークホルダー別広報計画

多様なステークホルダー(関与者)に対し、個別対策を検討した広報計画を策定します。

<ステークホルダー>

1) ランナー

コースをはじめとする大阪マラソンの魅力をアピールし、インターネットでのエントリーとあわせたPRを展開します。

2) ボランティア

ボランティア募集など、様々な募集活動を通して幅広く府民・市民を巻き込みます。

3) 観衆

1年前イベントからはじまる機運の盛上げにより、あらゆる層に大阪マラソンの魅力をアピールします。

4) 交通規制対象者

規制内容の告知にあわせて自らも楽しめる機会をアピールし、広範な府民・市民の支援や賛同を得られるようにします。

5) 協賛催事関係者

大規模都市型マラソンとしての話題性、集客力、チャリティー事業への参画により、企業のCSR活動の一環として、参画のメリットを訴求します。

6) 海外

東アジアに重点を置き、次項に掲げる広報戦略を展開します。

2 海外への情報発信と海外からの集客施策

東アジアに重点を置いた、海外の方々への情報発信と誘客を実施します。

(1) 海外参加枠の設定

東アジアに向けて開かれた国際都市・大阪をPRします。海外からの参加希望者のための参加特別枠を設定し、関西国際空港の利用を促します。

(2) 多言語ホームページの作成と情報発信強化

日本語・英語に加え、韓国語・中国語のホームページの開設も検討します。

(3) 海外マラソン大会へのPRブース出展と交流

ソウルマラソンや、上海マラソンなど、東アジアを中心とした世界の市民マラソンでPR活動を行うことを検討します。

10. 大会運営費(概算)の算出

大項目	中項目	金額
1 広報・イベント費	1 大会告知費 (告知/広報関係費、告知物制作関係費、海外マラソン大会広報費、記者発表、ウェブ制作・運営費 等)	100,000,000
	2 広報記録関係費 (記録費、報告書作成、経済波及効果測定 等)	10,000,000
	3 表彰式およびレセプション関係費 (開会式、表彰式演出進行 等)	10,000,000
	4 選手受付マラソンEXPO	90,000,000
	5 ゴールゾーン関係費 (イベント制作費、会場使用料 等)	40,000,000
	6 関連イベント制作費 (大阪マラソン祭り 等)	50,000,000
		300,000,000
2 安全対策費	1 交通安全対策費 (警備計画作成、警備人件費 等)	90,000,000
	2 交通規制関係費 (規制媒体費、看板・ツール制作費、住民対策、交通量調査 等)	110,000,000
		200,000,000
3 大会運営費	1 大会運営費 (計画書・マニュアル作成費、スタート/フィニッシュ会場設営関係費、車両運搬費、医療救護、選手配布物、保険 等)	250,000,000
	2 コース運営費 (給水・給食所/仮設トイレ設営関係費、コース計測 等)	100,000,000
	3 役員・ボランティア関係 (募集関係、説明会、ウェア制作 等)	100,000,000
		450,000,000
4 エントリー・記録関係費	1 申し込み処理費	20,000,000
	2 記録管理費	90,000,000
		110,000,000
5 事務局関係費	1 事務局関係費 (スタッフ人件費、経費 等)	50,000,000
		50,000,000
6 予備費	1 予備費	60,000,000
		60,000,000
総計		1,170,000,000

<問い合わせ先>

大阪府中央区大手前二丁目1番22号

大阪マラソン開催準備委員会事務局

(平成22年3月31日まで)大阪府本館6階

(平成22年4月1日から)大阪府新別館北館地下1階

電話 06-6944-7139 FAX 06-6949-0720

電子メール sport-shinko@sbox.pref.osaka.lg.jp